

## 中学生、自衛隊の職場体験



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は令和6年2月22日（木）に横浜市立飯島中学校2学年の生徒5名が参加した職場体験学習を支援した。

午前中は潜水医学実験隊で潜水訓練等についての説明や映像を観て学んだ後に実際の設備や装備を見学した。

深海潜水訓練装置の研修時には、水圧で小さく縮んだカップ麺の容器が展示しており、生徒らはそれを興味深そうに見たり触ったりしていた。また、潜水時の装備を着る体験では、思わず「重い！」と声を出してその重さに驚いていた生徒もいた。

他にも潜水訓練用のプールや高気圧酸素治療装置等を見学し、難しい内容だったが「少しだけ理科の授業で習ったことがある」という生徒もおり、しっかりと理解しようと参加していた。

体験喫食の昼食後、午後からは潜水艦での体験学習を行った。垂直のはしごからの乗艦に少し怖がりながらも、初めて目にする潜水艦の艦内の機材や計器に興味津々の様子だったり、操舵手の動作や艦内放送を行ったり潜望鏡で基地内を見渡すなど貴重な体験に興奮気味だった。質問では「なぜ潜水艦の色は黒なのか」と素朴な疑問も問いかけていた。

生憎の天候で少し肌寒い1日だったが、ずっと元気に振る舞っていた生徒たちは職場体験学習後には更にテンションが上がったようで、帰りの車内でも元氣いっぱい体験学習を心から楽しんでもらえたようだった。

上大岡募集案内所は、「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力伝えていきたい」としている。

